

## デンヨー株式会社、CO2排出ゼロの発電機の開発に着手 ～株式会社クボタから水素エンジンを調達～

デンヨー株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:白鳥昌一、以下「デンヨー」)は、株式会社クボタ(本社:大阪市浪速区、代表取締役社長:北尾裕一、以下「クボタ」)が開発を進める産業用水素エンジンを搭載した「水素専焼発電機」(※1)の開発に着手しました。関係法令や水素インフラの整備といった課題はありますが、市場投入に向けて研究・開発を進めてまいります。

※1:水素だけを燃料とすることにより、燃焼時にCO2を排出しない発電機



〈デンヨー 45kVA 水素専焼発電機※2〉



〈クボタ 3.8L 水素エンジン※2〉

※2:画像はイメージです

### 1. 背景とねらい

○運搬が容易な可搬形発電機は工事現場やイベント会場等の任意の場所で電力を供給するために広く使用されています。ディーゼルエンジンを搭載したものが主流ですが、カーボンニュートラルを巡る国内外の動きをにらみ、デンヨーは「水素混焼発電機」(※3)や「燃料電池式可搬形発電装置」(※4)などの開発に取り組んでいます。

※3:軽油や都市ガスなどの燃料に水素を混焼させることにより、二酸化炭素(CO2)の発生を抑制する技術を用いた発電機

※4:水素と酸素の化学反応により電気エネルギーを得る発電機

○クボタはエンジンを通じたカーボンニュートラルに向けた取り組みとして、産業機械向けエンジンの低燃費化に加え、水素、バイオ燃料、合成燃料等、脱炭素燃料の適用研究を進めています。

○このたび、デンヨーはさらなる脱炭素の取り組みとして、クボタが開発している産業用水素エンジンを搭載し、水素だけを燃料とすることでCO2を排出しない「水素専焼発電機」の開発に着手しました。可搬形発電機のボリュームゾーンである45kVAのディーゼル発電機をベースに開発を進め、早期の市場投入を目指します。

### 2. 本件に関する問い合わせ先

デンヨー株式会社 経営企画室 TEL:03-6861-2304

株式会社クボタ エンジン事業推進部 TEL:06-6648-3510

以上